

CentreCOM® 8724XL/8748XL リリースノート

この度は、CentreCOM 8724XL/8748XL（以下、CentreCOM を省略）をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 2.3.1 pl08 (2.3.1-08)

2 未サポート機能


以下の項目は付属のユーザーマニュアル、または最新のコマンドリファレンスに記述がありますが、本製品ではサポート対象外となっていますので、あらかじめご了承ください。

- 1000Mbps ポートトランキング (8748XL のみ)

3 本バージョンでの制限事項

3.1 SNMP MIB オブジェクトについて


 **参照** 「取扱説明書」 79～81 ページ

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「SNMP」

SNMP の MIB オブジェクトについて、以下のような制限があります。


- ブリッジ MIB オブジェクト [dot1dStpPriority] に正しい値がセットされていません。
- ブリッジ MIB オブジェクト [dot1dBaseType] に正しい値がセットされていません。
- ブリッジ MIB オブジェクト [dot3StatsFrameTooLongs] が正しくカウントアップされません。

3.2 フォワーディングデータベースについて

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「フォワーディングデータベース」

- パケットの種類に関係なく、パケットの受信中に本体を起動すると、フォワーディングデータベースに不明な MAC アドレスが登録される場合があります。
- 1 回目のエージアウトですべてのダイナミックエントリーがフォワーディングデータベースから削除されない場合があります。ただし、2 回目以降のエージアウトですべてのダイナミックエントリーが削除されます。

3.3 フォワーディングデータベースのスタティックエントリーについて

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「フォワーディングデータベース」


- DELETE SWITCH FILTER コマンドの ENTRY パラメーターで、ハイフンによるエントリー番号の指定ができません。
- SHOW SWITCH FILTER コマンドで、100 以降のエントリー番号が下 2 桁しか表示されません（例えば、101 は「01」と表示されます）。

3.4 DHCP リレーエージェント機能について

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IP」 / 「DHCP/BOOTP リレー」

DHCP メッセージの hops フィールドの値が、SET BOOTP MAXHOPS コマンドで指定した値（最大転送回数）より大きい場合でも、同メッセージが破棄されずに転送されます。

3.5 DHCP クライアント機能について

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IP」 / 「IP インターフェース」


リース延長要求中（RENEWING 状態のとき）に、DHCP request メッセージがユニキャストでなくブロードキャストで送信されます。

3.6 ソフトウェア IP フィルターについて

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IP」 / 「ソフトウェア IP フィルター」


ADD (SET) IP FILTER コマンドで OPTIONS パラメーターを指定した場合、フィルターが正しく動作しません。

3.7 VRRP のバーチャルルーターの表示について

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「VRRP」

SHOW VRRP コマンドで表示される「Up Master Trigger」と「Down Master Trigger」カウンターの値が、トリガーが起動された回数でなくトリガー番号になっています。

3.8 DHCP サーバー機能について

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「DHCP サーバー」


- クライアントに割り当てていた IP アドレスを解放した場合、SHOW DHCP RANGE コマンドの表示項目 Free Address（未使用の IP アドレス一覧）に、該当の IP アドレスが重複して表示される場合があります。
- プールされた IP アドレスのうち最初の IP アドレスに限り、本体起動時に使用状況の確認が行われません。

3.9 ディレクティッドブロードキャストアドレス宛のパケットについて

異なるネットワークからディレクティッドブロードキャストパケットを受信した場合、本製品が返す Reply パケットの送信元 IP アドレスに、受信インターフェースの IP アドレスがセットさ


れず、送信元にもっとも近いインターフェース（パケットを実際に送り出すインターフェース）の IP アドレスがセットされます。

3.10 8748XL の 10/100Mbps ポートランキングについて

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「ポート」


トランクグループがポートグループ「1～24」と「25～48」をまたぐような設定はできません（例えば、トランクグループ *uplink* にポート 1,2,25,26 を追加するような設定「ADD SWITCH TRUNK=*uplink* PORT=1,2,25,26」）。トランクポートが「1～24」または「25～48」のどちらかのポートグループにすべて入るよう設定してください。

3.11 ファイアウォール (AT-FL-02) のアクセスリストについて

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」 / 「フィルタールール」

ファイアウォールルールにアクセスリストを指定した場合、該当のルール以降のルールが無効になります。アクセスリスト以外に複数のルールを併用する場合は、アクセスリストのルール番号に「299」（最終番号）を指定してください。

3.12 IGMP (AT-FL-03) について

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IP マルチキャスト」 / 「IGMP」

IGMP を有効 (ENABLE IP IGMP) から無効 (DISABLE IP IGMP) に設定しても、Report メッセージがフラッディングされません。設定を保存すると正常にフラッディングされます。

3.13 DVMRP (AT-FL-03) について

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IP マルチキャスト」 / 「DVMRP」

- Graft/Prune メッセージを受信すると、受信ポートの所属 VLAN 内すべてのポートに Graft/Prune メッセージがフラッディングされます。
- Graft/Prune メッセージの Source Address フィールドにホストのアドレスではなく、ネットワークアドレスが設定されます。


4 取扱説明書・製品仕様・コマンドリファレンスの補足・誤記訂正

同梱の取扱説明書、製品仕様、および CD-ROM に収録されている「CentreCOM 8700 シリーズ・コマンドリファレンス 2.3 (Rev.A)」の補足事項です。

4.1 8748XL のフラッディングレートについて

リンクしている 10/100Mbps ポートの数によって、拡張モジュールの 1000Mbps ポートのブロードキャスト、マルチキャストの転送率が下がる場合があります。

4.2 ポートランキングについて

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」 / 「ポート」

- ポートランキングと下記の機能は併用できません（トランクポートでは下記の機能を使用できません）。

- ・ スパニングツリー
 - ・ イングレスフィルタリング
 - ・ IGMP/IGMP snooping
- 8748XL の 10/100Mbps ポートトランッキングでは、以下のような場合、トランクポートが所属する VLAN 以外の VLAN からルーティングされ、トランクポートから送信されるパケットの負荷分散が行われません（冗長機能は動作します）。
- ・ 受信ポートとトランクポートがポートグループ「1～24」と「25～48」をまたいだ場合（例えば、受信ポート（VLAN1）がポート 47 で、トランクポート（VLAN2）がポート 1～4 といった場合）

4.3 8724XL のパケットバッファ容量について

 **参照** 「CentreCOM 8724XL 製品仕様」 / 「メモリー容量」

8724XL 同梱の「製品仕様」（J613-M6920-03 Rev.A）には、パケットバッファ容量が「8MByte」と記載されていますが、正しくは「16MByte」です。訂正してお詫びいたします。

4.4 DHCP の静的割り当て設定について

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「DHCP サーバー」

DHCP レンジ内の IP アドレスを特定の MAC アドレスに静的割り当てする場合、以下の点にご注意ください（静的割り当ての設定は ADD DHCP RANGE コマンドで行います）。

- 静的割り当ての対象となる端末（DHCP クライアント）は、DHCP レンジの所属サブネットワークでしか使用できません。本製品は、静的割り当て対象の MAC アドレスに対して、つねに静的な IP アドレスを割り当てようとするため、端末を他のサブネットワークに移動すると、（動的割り当てによる）アドレス設定が正しく行えなくなります。静的割り当てした端末を他のサブネットワークに移動するときは、DELETE DHCP RANGE コマンドで静的割り当てエントリを削除してください。
- 同一の MAC アドレスに対して複数の静的割り当てエントリを作成した場合、最後に作成したエントリだけが有効となります。1 つの MAC アドレスに複数の IP アドレスを静的割り当てしないでください。